

履修モデル(1)(薬物治療学分野)

養成する人材像：科学的視点をもって高度医療に対応できる薬剤師 指導教員：早勢 伸正（薬物治療学分野、薬物治療学特論担当）						
年	期	分野	科 目	単 位	内 容	備考
1	前	薬物治療学	薬物治療学特論	1	ファーマシューティカル。・ケアに基づく、各種疾患に対する薬物治療計画を立案する。	
			薬物治療学特論特論演習	6	薬物治療学に関する論文の読解・発表・討論、症例検討を通して、研究計画の立案、研究手法、データ整理の方法を学び問題解決能力を身につける。	
			情報機能薬学特論	1	病態および薬物治療によって変化する生体反応を学ぶ。	
			病態制御医薬品学特論	1	生体反応調節物質としての医薬品と、その代謝物の相互作用、新規医薬品の作用機序・薬効・臨床上的の問題点を学ぶ。	
		個別薬学 薬学 薬学 薬学 薬学	遺伝子解析学特論	1	Pharmacokinetics/Pharmacodynamicsに関わる遺伝子多型と有効で安全な薬物の投与設計を学ぶ。	
↓						
1 後 4 後		薬物治療学	薬物治療学課題研究	20	薬物治療に関わる諸課題について、臨床現場と大学内の研究室で指導教員、派遣実務家教員、指導補助教員のもとで研究に従事する。 4年後期の後半期は、博士論文発表会、博士論文作成を行う。	

履修モデル(2)(地域医療薬学分野)

養成する人材像：北海道の医療の現状を理解し、北海道の地域医療が抱える問題を発掘し、さらに解決できる能力を有する薬剤師
 指導教員：古田精一（地域医療薬学分野、在宅医療薬学特論担当）

年	期	分野	科目	単位	内容	備考
1	前	地域医療薬学	在宅医療薬学特論	1	薬剤師の在宅医療への関わりが求められる中で、その意義、現状、問題点、課題を整理し、在宅医療への薬剤師の介入の推進に向けた方策を見いだす。	
			在宅医療薬学特論演習	6	在宅医療薬学に関する論文の読解・発表・討論をとおして、研究計画の立案、研究手法、データ整理の方法を学び、問題解決能力を身につける。	
			公衆衛生薬学特論	1	公衆衛生を予防医療の観点でとらえ、保健衛生の科学的・実践的知識を修得するとともに、環境要因・化学物質に由来する健康被害の防止について考察する。また、臨床における重要な急性中毒の鑑別と最適治療を学ぶ。	
		臨床薬学	病院薬剤学特論	1	病院薬剤師業務の新しい展開とその実践に必要な理論を学ぶ。	
		個別化医療薬学	臨床薬物動態学特論	1	薬物動態学理論に基づく、医薬品の投与設計を学ぶ。	



1 後	4 後	地域医療薬学	在宅医療薬学課題研究	20	在宅医療における薬剤師の課題を社会実験によって実証研究し、その有用性を明らかにする。研究活動は本学附属薬局で行ない、指導教員、派遣実務家教員、指導補助教員のもとで研究に従事する。4年後期の後半期は、博士論文発表会、博士論文作成を行なう。	
-----	-----	--------	------------	----	--	--